

令和4年度 第8回 役員会議事要旨

日 時：令和4年9月12日（月）

午後1時30分開会

午後2時29分閉会

場 所：Web 会議

出席者：総長、山口理事、横田理事、吉見理事、増田理事、山本理事、菅原理事、行松理事、梅原理事

欠席者：なし

（オブザーバー）

高橋監事、渥美副学長、舩副学長、長谷山副学長

議事に先立ち、総長から資料に基づき、7月25日の令和4年度第7回役員会の議事要旨に係る確認があった。

議 事

議案1 就業規則関連規程の一部改正について

総長から、資料に基づき説明があり、審議した結果了承された。

議案2 教員の勤務延長に係る選考について

山口理事から、資料に基づき、令和4年4月1日付けでディスティングイッシュトプロフェッサーの称号を付与された教員等のうち、大学院薬学研究所所属の原島秀吉教授及び人獣共通感染症国際共同研究所所属の鈴木定彦教授について、今年度末で定年退職予定のところ、令和5年4月1日から令和7年3月31日までの2年間勤務期間を延長すること等について説明があり、審議した結果了承された。

議案3 令和5年度以降の部局評価配分事業について

吉見理事から、資料に基づき、令和5年度以降の部局評価配分事業のうち、「ダイバーシティ環境醸成状況」の評価数値は「若手教員比率」、「女性教員比率」、「女性教授比率」、「外国人教員比率」の4項目とし、自部局の評価数値3項目以上が直近3か年平均値を超えた場合に配分対象とすること等について説明があり、審議した結果了承された。

議案4 札幌市との包括連携協定の締結について

吉見理事から、資料に基づき、札幌市との既存の連携事業の更なるレベルアップと新たな協業や付加価値を創造し、地域課題や社会課題の解決に寄与することを目的として、同市と包括連携協定を締結すること等について説明があり、審議した結果了承された。

協議事項1 全学運用教員の措置について

総長から、資料に基づき、全学運用教員の措置について、令和4年10月1日付けで大学院医学研究院に、令和5年4月1日付けで大学院薬学研究院及び人獣共通感染症国際共同研究所に全学運用教員総長措置の必要性が生じたこと等について説明があった後、引き続き山本理事から、総長措置については、措置の必要性を検証の上、全学的な見地から真に必要なもののみ措置を行うこと等について説明があり、協議した結果了承され、9月14日の部局長等連絡会議で意見聴取を行うこととなった。

協議事項2 北海道大学病院に係る看護職員等特別調整手当の改定について

行松理事から、資料に基づき、北海道大学病院に係る看護職員等特別調整手当の改定について説明があり、協議した結果了承された。

協議事項3 就業規則関連規程の一部改正について

総務課課長補佐から、資料に基づき、就業規則関連規程の一部改正について説明があり、協議した結果了承され、過半数代表者等への意見聴取を行うこととなった。

報告事項等1 副理事の任命について

総長から、資料に基づき、9月7日付けで副理事を新たに1名任命したこと等について報告があった。

報告事項等2 令和5年度概算要求（財務省要求）について

吉見理事から、資料に基づき、8月31日付けで文部科学省から財務省に提出された令和5年度概算要求に関する本学分の伝達について、文部科学省において一括計上されている袋要求が含まれているため、本学の運営費交付金の総額は現時点で示されていないこと、一部伝達のあった主なものとして、「教育研究組織改革分」では新規4件と継続2件の合計6件分が要求されていること、「基盤的設備等整備分」では教育設備で水産科学研究院、教育改革室の2件、研究設備で理学研究院、創成研究機構の2件、合計4件分が要求されていること等について報告があった。

その後、菅原理事から、資料に基づき、施設整備費補助金分について、本学から文部科学省へ要求した事業22件のうち、文部科学省において「令和5年度国立大学法人等施設整備の概算要求事業の選定の考え方」に基づく評価の結果、5事業についてS評価であったこと等について報告があった。

報告事項等3 障害者の雇用状況等について

行松理事から、資料に基づき、障害者の雇用状況等について、本学における6月1日現在の障害者実雇用率は2.40%であり、法定雇用率2.6%を下回っていること、法定雇用率達成のため、引き続き全学的な理解と協力を得ながら対応していくこと等について報告があった。